

## 第7回「明日の西湘海岸を考える懇談会」議事要旨

- **開催日時** 令和5年1月27日（金） 13時00分～14時30分
- **開催場所** 小田原合同庁舎2階D+E会議室（Web併用）
- **出席委員**（敬省略）

<b>【座長】</b> 宇多 高明	日本大学 客員教授	有識者
佐藤 慎司	高知工科大学 システム工学群 教授	
川邊みどり	東京海洋大学 学術研究院 教授 (Web)	
柴山 知也	早稲田大学 理工学術院 教授	
武井 正	(公財) 相模湾水産振興事業団代表理事	漁業関係
高橋 征人	小田原市漁業協同組合代表理事組合長	
小島 拓	大磯二宮漁業協同組合代表理事組合長	
小泉 隆史	大磯町区長連絡協議会会長	住民 利用者
佐藤 進	二宮町地区長連絡協議会代表	
田邊 邦良	二宮町観光協会会長	
小又 寛	二宮海岸に砂浜を戻す会代表 (Web)	
加藤 史訓	国土交通省国土技術政策総合研究所海岸研究室長	行政
鳥海 義文	小田原市副市長	
鈴木 一男	大磯町副町長	
渡邊 康司	二宮町副町長	
田村 貴久	神奈川県県土整備局河川下水道部防災なぎさ担当課長	
久保 暁俊	神奈川県県西土木事務所 小田原土木センター所長	
藤崎 伸二郎	神奈川県平塚土木事務所長	
荒木 茂	国土交通省関東地方整備局河川部低潮線保全官	
嶋崎 明寛	国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所長	

## ○ 議事

1. 開会
2. 「明日の西湘海岸を考える懇談会」規約改定について
3. 議題
  - (1) 直轄西湘海岸保全対策事業の概要について
  - (2) 神奈川県による海岸保全対策事業の概要について
  - (3) 意見交換
4. 閉会

### ・配布資料

- ・第7回「明日の西湘海岸を考える懇談会」次第
- ・第7回「明日の西湘海岸を考える懇談会」委員出席者名簿
- ・第7回「明日の西湘海岸を考える懇談会」配席図
- ・「明日の西湘海岸を考える懇談会」規約
- ・「明日の西湘海岸を考える懇談会」傍聴規定
- ・直轄西湘海岸保全対策事業の概要 京浜河川事務所資料
- ・神奈川県の海岸保全対策事業の概要 神奈川県資料

## ○ 議事要旨

### 【直轄西湘海岸保全対策事業の概要について】

- ・波高は低かったが長周期の波で工事用道路が壊れたという話だったが、波の向きが東寄りから来るか、西寄りから来るかというのが大事。
- ・全体計画があって、今どの部分を進捗しているのか、説明の中で加えられると分かりやすくなる。

### 【神奈川県海岸保全対策事業の概要について】

- ・粒径が違くと海浜変形は全然違う。今後を予測するためには粒径が必須、今後は粒径分布もつけて出してもらいたい。また、三保ダムの上流部で質のいい、礫があるので、そちらも考えて頂きたい。
- ・地域との合意形成を図っているという話だが、3.8m の壁ができる。向こう（景色）が見える窓をつけている事例もある。景観や利用面も考えていただきたい。
- ・沿岸の刺し網漁業では、粒径の大きいもの、角があるものは網にかかって揚がらなくなることがある。協議会では、小田原地区は 30mm まで、二宮は 50mm、そうした漁業者との約束事がある。流れないように大きなものを入れるのは問題ない。
- ・令和 4 年度に二宮地区で 8,000 m<sup>3</sup>、これだけの砂を入れると、養浜はいいかもしれないが、砂を取られた場所はそれなりに環境の変化が起きている。この海岸を良い状態で維持していく上で、養浜以外での方策がないか考えて頂きたい。
- ・飯泉堰の上流の土砂を持ってきてしまうと、酒匂川の河口に土砂が行かなくなるので、森戸の河口付近や国府津海岸とかの砂礫の量を減らすことをやっているのかもしれない。土砂全体のバランスを考える工夫、そういう目を持っていただきたい。
- ・小田原海岸には人工リーフが設置されている。人工リーフが当初の頃より 10 cm～15cm 位沈んでいる。ただ養浜だけして、先が見えるのかな、そういう不安を感じる。

### 【その他】

- ・今ある計画の進行状況を議論するだけでなく、気候変動のことを考えておく必要がある。
- ・（京浜河川）全体で 6 基造る岩盤型の潜水突堤のうちの 1 基目を造るめどが立ちつつあるので、将来的なところも踏まえ、全体の形や順番も含め、所内で検討していきたい。
- ・海岸侵食の話で、出ていくものを減らすというのが大事で、森戸川の河口のところで沿岸漂砂礫流失抑制施設も考えられている。これからも砂礫は酒匂川から来る中で、そういう貴重なものを森戸川の河口沖の谷に落とさないよう、今後検討していく必要がある。

以上